【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年10月24日(2022.10.24)

【国際公開番号】WO2022/102189
【出願番号】特願2022-525284(P2022-525284)
【国際特許分類】
*A61M 25/10(2013.01)*
【FI】
A61M 25/10 530
A61M 25/10 550
A61M 25/10 510

【手続補正書】
【提出日】令和4年4月28日(2022.4.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
バルーン本体を有しており、
前記バルーン本体は、拡張部と、前記拡張部よりも遠位側に位置している遠位側スリーブ部と、前記拡張部よりも近位側に位置している近位側スリーブ部と、を有しており、
前記遠位側スリーブ部はシャフトと固定される固定部を有しており、
前記遠位側スリーブ部の内面の前記固定部の遠位端よりも近位側であって前記遠位側スリーブ部の周方向の一部に補強部を有していることを特徴とするバルーンカテーテル用バルーン。
【請求項２】
前記拡張部は、直管部と、前記直管部よりも遠位側に位置している遠位側テーパー部を有しており、前記遠位側テーパー部の内面には、前記拡張部の長手軸方向において前記遠位側テーパー部の遠位端を０％の位置、前記遠位側テーパー部の近位端を１００％の位置としたとき、前記遠位側テーパー部の０％の位置から１０％までの区間において、前記遠位側テーパー部の内面であって前記遠位側テーパー部の周方向の一部に前記補強部を有している請求項１に記載のバルーンカテーテル用バルーン。
【請求項３】
前記遠位側スリーブ部の前記補強部と前記遠位側テーパー部の前記補強部は、前記バルーン本体の長手軸方向に連続して延在している請求項２に記載のバルーンカテーテル用バルーン。
【請求項４】
前記補強部は、樹脂で構成されている請求項１～３のいずれか一項に記載のバルーンカテーテル用バルーン。
【請求項５】
前記補強部は、金属で構成されている請求項１～３のいずれか一項に記載のバルーンカテーテル用バルーン。